

災害時の助っ人を養成します！

＜遠隔操縦式建設機械の運転講習会について＞

- ①四国地方整備局では、災害対策用機械の遠隔操縦式バックホウ（無人油圧ショベル）を、災害時に迅速な運用ができるよう、運転講習会を開催しています。
- ②ラジコンにて遠隔操縦技能を修得し、災害復旧作業を安全・迅速に遠隔操縦する重機オペレータを養成します。

記

日時：平成20年2月20日～21日 8：45～16：30

場所：四国技術事務所（高松市牟礼町牟礼1545）

平成20年2月6日

国土交通省 四国地方整備局
四国技術事務所

問い合わせ先

国土交通省 四国技術事務所



副所長

機械課長

きら つとむ

吉良 勉

まなべ りゅうへい

真鍋 龍平



TEL 087-845-3135

遠隔操縦式建設機械の運転講習会について

1. はじめに

近年は大規模災害が多く発生しており、土砂崩れや道路崩落等においては、迅速な復旧作業が望まれています。一方で、被災現場での作業は常に危険にさらされるため、運転員の二次災害防止の観点からは、遠隔操縦式建設機械（無人化施工機械）による復旧作業が有効で、最近では新潟県中越沖地震の復旧支援等でも使用され、その重要性がクローズアップされてきています。

遠隔操縦式建設機械は、離れた位置からラジコン送信機により重機を操作するもので、操作するオペレータの安全性が確保出来る反面、機械に乗らずに運転するためエンジン音や作業音などは聞こえにくく、作業場所も見えにくいなど、通常の搭乗運転とは異なった操作感覚が要求されます。その独特な操作感覚に日頃から慣れ、災害時にも即時に対応出来るようなオペレータの教育・養成が求められています。

2. 目的

本講習は、四国地方整備局が保有する災害対策用機械の「遠隔操縦式バックホウ」を用いて、遠隔操縦を行うことが出来るオペレータを、平時から四国管内に多数養成し、災害等の緊急時にも迅速に運用できる体制を整えるために実施するものであり、災害復旧作業等における重機の遠隔操縦に的確に対応できる人材の育成・確保を目的としています。

3. 実施期間

平成20年2月20日（水） 8：45～16：30

平成20年2月21日（木） 8：45～16：30

4. 実施場所（添付図参照）

四国技術事務所（屋外試験場）

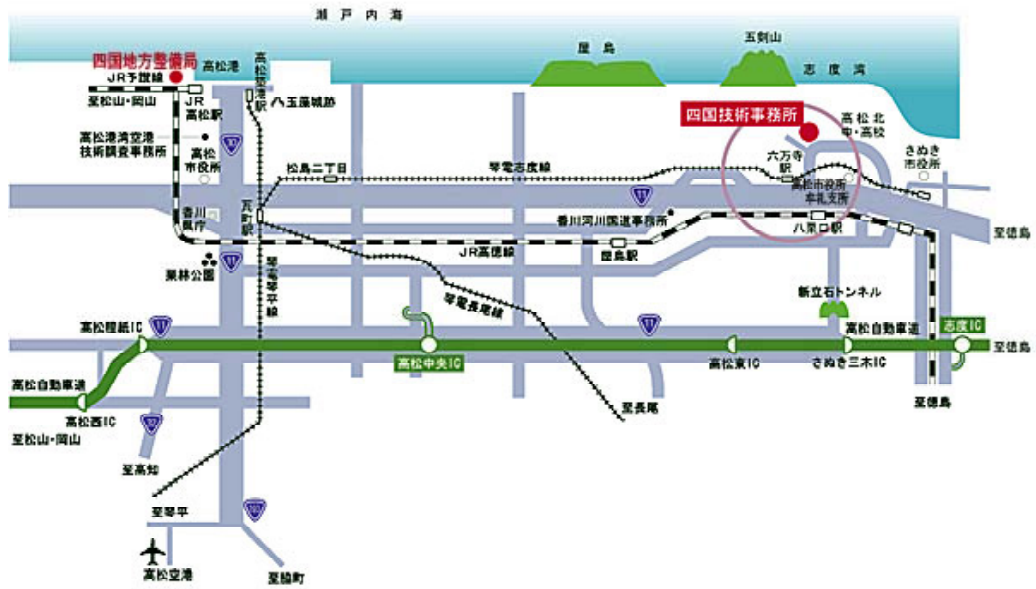
（香川県高松市牟礼町牟礼1545）

5. 実施方法

四国技術事務所構内の屋外試験場において、遠隔操縦式バックホウ(0.45m³級)を実際に用いて、ラジコン操作により走行・掘削・積込などを体感し、遠隔操縦式バックホウの運転技能を修得していただくものです。

6. 効果

本講習は、日頃から建設現場において重機オペレータとして働いておられる方を対象に行うものであり、受講者には「講習修了証」が交付され、四国地区内の遠隔操縦可能なオペレータとして講習修了者名簿に登録されます。

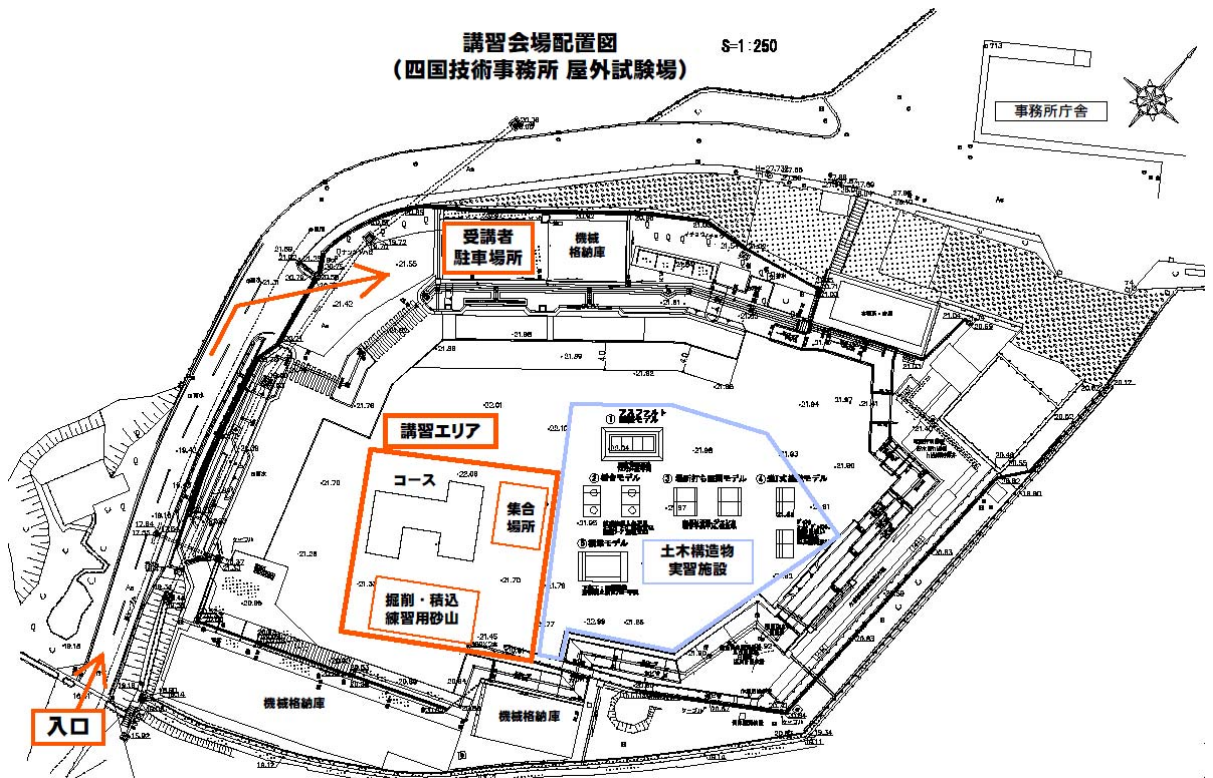


■ 付近拡大図



講習会場配置図 (四国技術事務所 屋外試験場)

S-1:250



遠隔操縦式バックホウの運転講習会（四国技術事務所）

実際の災害現場で活躍する遠隔操縦式バックホウ



遠隔操作用送信機



H16.12.7 国道32号 財田第3トンネル入口土砂崩落

ラジコンで操作できる人はまだ少ない

遠隔操縦オペレータ養成講習を開催

実施内容：ラジコンバックホウによる遠隔操縦技能修得
（四国地方整備局保有のラジコンバックホウを使用）

- ・操作訓練：目視遠隔操作による走行・掘削・積込
- ・習熟度評価：講習の初めと終わりに特設コースの走行・作業を行い、その時間及び操作精度等を評価し、習熟の度合いを判定

技能修得者：講習修了証を交付

（共催：（社）日本建設機械化協会四国支部）

受講人数：2日間で10～15名を予定

平成18年度の実施状況（まんのう公園及び四万十川にて実施）

遠隔操作の技能修得及び練習



目視でのラジコンによる操作練習の様子

特設コースでの走行・掘削



コース走行・掘削の様子

